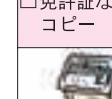
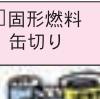
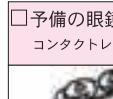
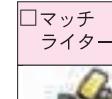




■非常用持出品の準備

すぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。

家族みんなでチェックしましょう！

<input type="checkbox"/> 3日分の水	<input type="checkbox"/> 3日分の食料	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 通帳、印鑑
			
<input type="checkbox"/> 緊急医薬品	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 雨具 ヘルメット	<input type="checkbox"/> 下着・上着 などの衣料
			
<input type="checkbox"/> タオル、手袋	<input type="checkbox"/> ティッシュ など	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 免許証などの コピー
			
<input type="checkbox"/> 石けん シャンプー	<input type="checkbox"/> 固形燃料 缶切り	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡 コンタクトレンズ	<input type="checkbox"/> マッチ ライター
			

■災害伝言ダイヤル

災害時には家庭の電話も携帯電話も不通となってしまいります。そんなときには災害用伝言ダイヤルを活用し安否を知らせましょう。

NTT西日本災害伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は被災地の人が録音した安否情報などを、家族や被災地以外の人などが再生することができる特別な電話回線です。

録音方法	再生方法
171を押す	171を押す
録音するときは1	再生するときは2
自宅の電話番号を 市外局番から押す	連絡を取りたい人の電話 番号を市外局番から押す
0574-00-0000	0574-00-0000
ガイダンスが流れる	
ピッという音の後30秒以内に話す	録音された内容が流れる
電話を切る	
※流れるガイダンスに従ってご利用ください。	

安否情報の取り次ぎをしてもらえる親せき、友人など（遠方に住んでいる人）を決めておきましょう。

地震の被害を少しでも少なくするためには、一人一人が十分な備えをすることが大変重要です。

住宅の耐震化、家具の固定、食料・水などの非常用持出品の準備、避難場所の確認など、家庭でできる対策をしっかりとしておきましょう。

明治24年10月28日に起きた濃尾大震災にちなんで、毎年10月28日を「岐阜県地震防災の日」、毎月28日を「岐阜県防災点検の日」としています。

ぜひ、この機会に災害に備える準備や点検を実施しましょう。

東海地震は、静岡県西部・駿河湾一
体を震源とし、マグニチコード8クラ
スの巨大地震と想定されています。
100年から150年周期で繰り返
し起き、最後に起きたのが、1854
年です。東海地震だけが、150年
たつてもまだ起きていません。ほかの
南海、東南海地震も起きる可能性があ
り、一つの地震によって別の地震まで
ものが連動して起きる危険性があるかも
しれません。

当市での予想される地震の震度は、
いずれも5弱から5強といわれていま
す。

阪神・淡路大震災では、犠牲者の8割以上が建物の倒壊や家具の転倒による圧死が原因で亡くなっています。特に、昭和56年以前に建てられた住宅については、約64%が大きな被害を受けています。

まずは、住宅の耐震化を図り、家の中の家具は、留め金などで固定しておきましょう。また、ブロック塀なども点検し安全な塀に改善するなど、倒壊による圧死を防ぎましょう。

市では、住宅の耐震化やブロック塀について補助制度を設けていますので、「」活用ください。

家族・自分自身で備える！

東海地震とは

■家の安全対策・耐震対策